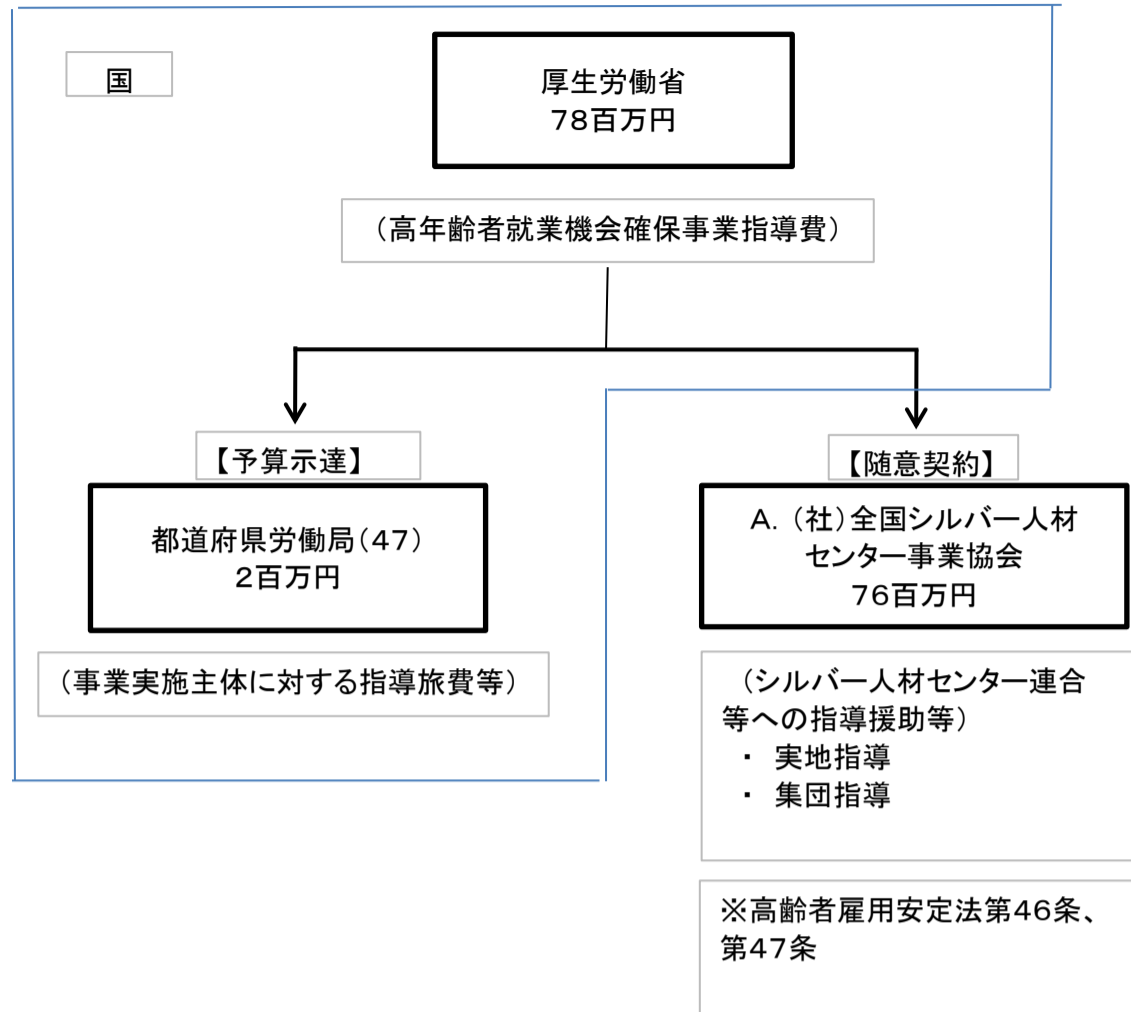


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	高年齢者就業機会確保事業指導費		担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和61年度(開始)・終了年度未定		担当課室	高齢者雇用事業室		高齢者雇用事業室長		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-1-3 高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令(具体的な条項も記載)	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第47条第1項から第5項		関係する計画、通知等	高年齢者就業機会確保事業(社団法人全国シルバー人材センター事業協会)の実施について等				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	シルバー人材センター事業の充実、強化や就業機会の確保のための指導を行うことにより、定年退職後等の高齢者の多様な就業のニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会を確保・提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図ることを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	高年齢者雇用安定法第46条の規定による厚生労働大臣の指定を受けた法人に委託すること等により、シルバー人材センター事業の円滑かつ適正な実施を確保するため、シルバー人材センター連合の管理運営等に関する実地指導、担当者への集団指導、相談援助等を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	91	96	91	87	96	
	執行額	77	86	78				
	執行率(%)	84.6	89.6	85.7				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	指摘事項の改善率(指摘改善数/指摘数)		成果実績	数				P
			達成度	%				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	訪問個別指導(シルバー人材センター連合本部)		活動実績(当初見込み)	団体	17	16	16	—
						(16)	(16)	
単位当たりコスト	1,625,597 (円/連合)		算出根拠	執行額(22年度実績)/連合数(訪問個別指導、特別指導、集団指導、相談等含む) 76,403,043円/47連合				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	人件費	67	75	業務体制の見直しにより、補助事業より1名振替増(専門員)・賃金職員1名の配置増(企画提案事業に係る監査・評価及び指導事業)				
	管理費	10	10					
	事業費	7	8					
	事務費	3	3					
	計	87	96					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>受託者との間で定期的に連絡会議を開催し、事務の進捗状況等について把握するとともに必要な指導を行っているところである。</p> <p>また、提出された精算報告書によりその内容を確認するとともに、経費の妥当性などについても是正を行っているところである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>高年齢者就業機会確保事業指導費は、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 社団法人全国シルバー人材センター事業協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	職員基本給、社会保険料等	58			
一般運営費	賃借料、通信運搬費	2			
事業費	指導旅費、研修会場借料	12			
その他	消費税	4			
計		76	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人全国シルバー 人材センター事業協会	シルバー人材センター連合の管理運営等に関する実地指導等	76	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					